

マリモの丸くなり方

マリモはどうやって球状になるのかという質問には、簡単な説明で答えることはできません。球状マリモはその構造から2種類に分けられます。たくさんの糸状体が放射状に並んで丸く育つタイプと糸状体の塊が絡まりあい、丸い形へと成長するタイプがあります。

様々な要因が組み合わさって、球状マリモが育ちます。阿寒湖周辺の独特の地形が生み出す風と波が、球状マリモにちょうど良い速度で回転運動をさせています。この回転運動により、球全体が日光を浴びます。光合成はマリモを成長させます。風や波が強すぎると、マリモが打ち上がってしまうことがあります。打ち上がったマリモは逆向きの波により再び湖に戻されたときは、再度成長を続けることがあります。

また、阿寒湖の水質もマリモの成長に影響を与えています。マリモの生育地には北部からの冷たい川の水が、雄阿寒岳や南岸からはミネラルや塩化物イオンが豊かな湧き水が流れ込みます。これら2つの水源が混ざり合い、マリモにとって良い養分バランスを生み出していると言われています。